

はまふらんどナビ

11月は地産地消月間！ 横浜の“農”を 探しに 出かけよう！



11月は地産地消月間です。

爽りの秋を体感できる農業体験や市内産農畜産物の直売、農業まつりなど、様々なイベントが市内各所で開催されます。今号ではこれらのイベントをご紹介します。横浜の“農”を探しに、ぜひお出かけください！



「よこはま食と農の祭典2012」開催 ～ Let's enjoy 地産地消～

日時：11月17日(土) 11:00～17:00 (予定)
会場：クイーンズサークル(クイーンズスクエア横浜1F)
アクセス：みなとみらい線「みなとみらい駅」からすぐ
入場料：無料 問合せ：横浜市環境創造局農業振興課
(tel.045-671-2639)
イベントの詳細は2ページをご覧ください。

よこはま食と農の祭典2012 タイアップイベント

みなとみらいにある3つのホテルが、横浜の農産物を使った地産地消イベントを開催します。

横浜ロイヤルパークホテル レディースランチ “横浜野菜”

ホテル内のカフェ フローラで、旬の横浜野菜を使用したランチを提供します。

期間：2012年10月11日(木)～11月30日(金)

会場：地下1階

「カフェ フローラ」

アクセス：みなとみらい線

「みなとみらい駅」から徒歩3分、

JR・横浜市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩5分

問合せ：横浜ロイヤルパークホテル

TEL：045-221-1155(レストラン予約)

HP：http://www.yrph.com



パン パシフィック 横浜ベイホテル東急

ナイト・キッチンスタジオ 横浜・神奈川
～地産地消～

シェフ厳選の新鮮な食材をbuffestailで提供いたします。目の前で調理するコーナーも。

期間：2012年11月16日(金)～2013年1月14日(月)
ディナータイム*除外日あり

会場：オールデイダイニング「カフェ トスカ」

アクセス：みなとみらい線「みなとみらい駅」から徒歩1分 問合せ：カフェ トスカ TEL：045-682-2218

HP：http://pphy.co.jp



ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル 期間限定「はま菜ちゃんパン」発売

よこはまブランド農産物のシンボルマーク「はま菜ちゃん」が、可愛いパンになって登場。期間・数量限定の販売です。

お見逃しなく！

期間：2012年11月1日(木)～11月30日(金)

会場：ペストリーショップ「ザ パティセリー」(1F)

アクセス：みなとみらい線「みなとみらい駅」から徒歩3分 問合せ：ヨコハマ グランドインターコンチネンタル ホテル TEL：045-223-2222(代表)

HP：http://www.interconti.co.jp/yokohama



「よこはま食と農の祭典2012」開催します!

～ Let's enjoy 地産地消～

11月の地産地消月間のイベントとして、今年もみなとみらいで「よこはま食と農の祭典2012」を開催します。横浜の地産地消をまるごと“味わって・体験して・知る”イベントが盛りだくさん!子どもから大人まで楽しめるビンゴ&クイズ大会や、地元横浜の農家による野菜の直売も行います。ご家族やお友達をお誘いの上、ぜひご来場ください!

日時: 11月17日(土) 11:00～17:00(予定)
会場: クイーンズサークル(クイーンズスクエア横浜1F)
アクセス: みなとみらい線「みなとみらい駅」からすぐ



昨年の様子

主なイベント

- 1 横浜の農を知ろう! 食べよう! 愉しもう!**
野菜ソムリエが横浜の農の魅力をたっぷりとお伝えします。
- 2 市内産をいただきます! 「新米ごはんとお惣菜」**
横浜産の新米が登場! はまふうどコンシェルジュが所属する「よこはま地産地消サポート店」が、ごはんに合うお惣菜をご用意します。
- 3 生クリームを使ってバターを作ろう! 味わおう!**
生クリームを振って、バター作り体験ができます。横浜の畜産についてもご紹介します。
- 4 はま菜ちゃんビンゴ大会**
はま菜ちゃん30品目の中から好きなキャラクターを選んで行うビンゴ大会を開催。上位入賞者には旬の野菜詰め合わせなどをプレゼントします。
- 5 横浜横断!? ウルトラ農クイズ2012**
横浜の地産地消や農業に関する〇×クイズです。成績上位者には賞品をプレゼントします。

その他のイベント

旬の横浜産野菜の直売コーナー、横浜の農業・地産地消紹介コーナー、地産地消ガイドブック「食べる.横浜」の映像紹介コーナーなどを開催。

JA横浜 創立10周年記念 「横浜農業の彩典」

オール横浜の農業が、赤レンガ倉庫イベント広場に集合! 農業と楽しく触れ合えば、地産地消がもっと良く見える!

日時: 10月27日(土) 10:00～16:00、28日(日) 10:00～15:00
会場: 横浜赤レンガ倉庫イベント広場
アクセス: JR・市営地下鉄「桜木町駅」から徒歩15分、
みなとみらい線「馬車道駅」「日本大通り駅」から徒歩6分 ※入場無料



イベント内容

- 横浜の農業を見せます・伝えます
- 農業を体験しよう・感じよう
- みどりや花に親しもう・触れ合おう
- 横浜の豊かな実りを分かち合おう
- 横浜を味わおう
- その他、農業にちなんだゲームやクイズで楽しい1日をお過ごしください

主催: JA横浜・JA横浜農業の彩典実行委員会
問合せ: JA横浜営農部 TEL: 045-805-6613

27日・28日は先着1,000名様に「球根栽培セット」をプレゼント!

横浜の“農”を体験しよう！

区役所が主催するイベント

神奈川区

わが町かながわ新鮮野菜市

地元農家、障害者地域作業所、ヘルスメイトが協力して区内産野菜を販売します。野菜を使ったレシピの配布もあります。野菜を入れる袋をお持ちください。



開催日：10月24日～12月26日の毎週水曜日 10:30～12:15 (売り切れ次第終了) 会場：神奈川区役所別館1階区民ホール アクセス：東急東横線「反町駅」、JR「東神奈川駅」、京浜急行「仲木戸駅」から徒歩7分、または市バス「二ツ谷町バス停」から徒歩2分 問合せ：神奈川区役所区政推進課 TEL：045-411-7027 FAX：045-314-8890

瀬谷区

瀬谷フェスティバル

安心して新鮮な横浜産の農産物を販売します。

開催日：10月28日(日)10:00～15:50 会場：上瀬谷通信施設のはらっぱ アクセス：相鉄線「瀬谷駅」から無料貸切バスを運行 問合せ：瀬谷フェスティバル実行委員会 TEL：045-367-5692



都筑区

都筑野菜朝市

「都筑野菜」をはじめとした都筑区産の新鮮な農産物をより多くの人に食べてもら



えるよう、区内の農家が朝市を開催。複数の農家グループと2つの養鶏農家が交代で販売しています。お越しの際にはマイバッグをお持ちください。開催日：毎月第2・4土曜日 9:30～12:00 会場：都筑区総合庁舎駐車場横通路 アクセス：横浜市営地下鉄「センター南駅」から徒歩6分 問合せ：都筑区役所区政推進課企画調整係 TEL：045-948-2226

保土ヶ谷区

まちなか農家さんの ほどがや朝市

区役所の土曜開庁日に合わせ、区庁舎広場で新鮮な保土ヶ谷産の野菜を販売して



います。地産地消を推進する市民活動グループ「ほどがや産直便」の皆さんと協働し、地元農家さんの協力のもとで、開催しています。お越しの際は、できるだけマイバッグをご持参下さい。

開催日：10月13日(土)、10月27日(土)、11月10日(土)、11月24日(土)、12月8日(土) 9:30～売切れ次第終了 会場：保土ヶ谷区役所前広場 アクセス：相鉄線「星川駅」から徒歩2分 問合せ：保土ヶ谷区役所地域振興課地域力推進担当 TEL：045-334-6380

青葉区

青葉区民まつり2012 / 青葉区健康フェスティバル 2012青Vege講座Ⅱ

青葉区民まつり2012 / 青葉区健康フェスティバル

区民まつりの会場で、安心して新鮮な横浜産の農産物を販売します。健康フェスティバル会場では、青葉みらい農くらぶによる「プラスチックカップを使用した簡単な野菜づくり」を行います。体験後はお持ち帰りOK。自宅で大切に育てて食べてください。育てた野菜を使った簡単なレシピも合わせて紹介します。

開催日：11月3日(土)10:00～15:00 会場：青葉区総合庁舎周辺

アクセス：東急田園都市線「市が尾駅」から徒歩8分、または「青葉区総合庁舎バス停」下車(駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください)

問合せ：青葉区民まつり運営委員会事務局 TEL：045-978-2291「プラスチッ



クカップを使用した簡単な野菜づくり」講座 TEL：045-978-2216

2012青Vege講座Ⅱ～青Vege Cooking～ 横浜市産の野菜を使用した料理教室を開催します。イベントなどにぴったりな料理も紹介します。

開催日：12月15日(土)10:00～15:00(予定) 会場：藤が丘地区センター アクセス：東急田園都市線「藤が丘駅」から徒歩7分 申込み：青葉みらい農くらぶ実行委員会事務局(青葉区区政推進課企画調整係) TEL：045-978-2216

緑区

みどり 地場野菜の直売会

地元農家さんが、心をこめて作った野菜を販売します。売切れ次第終了となり、荒天時などは実施しない場合もあります。



開催日：10月10日(水)、11月14日(水)、12月12日(水) 8:45～13:00 会場：緑区役所 アクセス：JR・横浜市営地下鉄「中山駅」から徒歩5分 問合せ：緑区役所区政推進課企画調整係 TEL：045-930-2228

港北区

地元農産物の直売

「野菜を食べて健康に」「地元の野菜を食べてほしい」という思いから、高田地域ケアプラザを会場に、地元産野菜の直売を行います。



開催日：11月30日(金)、12月7日(金) 11:00～12:00(雨天中止の場合あり、売切れ次第終了) 会場：高田地域ケアプラザ玄関前 アクセス：横浜市営地下鉄「高田駅」から徒歩2分 問合せ：港北区役所区政推進課 TEL：045-540-2230

はまふうど人 登場

vol.26



中村弘之さん

横浜農業協同組合
生活文化部 地域ふれあい課長

さまざまな立場から地産地消に取り組む方をご紹介します

「地産地消」でさらなる地域活性化を図る 創立10周年を迎えたJA横浜

平成15年に横浜市内の5つの農協が合併して誕生し、今年、創立10周年を迎えたJA横浜では、横浜農業のさらなる振興に向け、さまざまな地産地消関連事業を展開しています。その事業内容や地産地消のこれからの方向性について、司令塔として活躍されている中村課長にお話を伺いました。

JA横浜が取り組む 新しい地産地消事業

10年前、市内の5つの農協が合併して誕生したJA横浜は「地域農業振興計画」という指針を発表しました。その計画の中には生産振興対策、流通対策、地域振興対策の3つの柱があり、その指針に沿って一括販売や直売所などの事業が展開されました。

「創立以来10年間、『地域農業振興計画』に示された3つの柱のもとに事業展開してきましたが、創立当時の軸がぶれることなく進めてこられたと思っています。現在、市内11ヶ所にあるメルカートやハマツ子の直売所は、横浜の生産者、消費者が公平に利用できるように多店舗展開にしたもの。結果として、買い物困難者の利便にもお応えしています」と、創立10周年を振り返る中村課長。講師を務めるはまふうどコンシェルジュ講座でも、JA横浜が取り組む新しい地産地消事業について、詳しく説明していただきました。

そのひとつが「アグリサポート事業」。高齢化により農業が継続できない農家の経営を持続させることを目的として、JA横浜が耕作困難な農地の貸借・斡旋をしたり、援農ヘルパーや援農ボランティアを育成する事業です。今年4月から、JA横浜の准組合員（現在、約4万人）を対象に援農ボランティア育成の農業塾を行っており、そこを卒業さ

れた方を援農ボランティアとして、人手が必要な農家さんに派遣する予定です。

また、今年4月に横浜市営地下鉄センター北駅前にオープンした「クッキングサロン ハマツ子」（JA横浜都筑中川支店ビルの3F）も、JA横浜の地産地消関連事業のひとつ。ここでは地域の方々を対象に、横浜産の食材を使った料理教室など、地産地消をテーマとした各種講座を開催しています。

「直売所で農産物を買って終わり、というところからもう一歩踏み込みたいという意図で作ったのが、このクッキングサロンです。ここで行われる料理教室にはさまざまなものがありますが、中でも、農家のお母さんたちが先生になって、地元の農畜産物を使った農家の家庭料理を教える教室は毎回大人気。この料理教室に参加された方々からは『採れた野菜を農家さんがどうやって食べているのかわかり、買ったものを無駄にせずに食べ尽くすことができる』と評判です。

クッキングサロン ハマツ子では、濱の料理人（本誌Vol.18で紹介）や、はまふうどコンシェルジュ講座から誕生したはまキッチン（Vol.23で紹介）も、地産地消をテーマにした料理教室を定期的に開催しています。「はまふうどコンシェルジュの方々ははじめ、横浜の地産地消に関心のある方には、ぜひ、クッキングサロン ハマツ子を活用していただきたいですね」。



毎回盛況な「クッキングサロン ハマツ子」の料理教室



2012年度はまふうどコンシェルジュ講座で、JA横浜の地産地消の取組みについて解説

食農教育に取り組む生産者を 「食農教育マイスター」として認定

「横浜市には、ずっと以前から、個人で食農教育に取り組んでおられる生産者の方々がたくさんいらっしゃいます」と中村課長。たとえば、水田を提供して小学校の授業の一環で稲作を体験させたり、収穫した野菜を学校給食に使ったり、地域に伝わる食文化や伝統行事を子どもたちに伝承するイベントを開催したり。JA横浜はそうした方々の取組みを調べ、食農教育に取り組む生産者を「食農教育

マイスター」として認定。活動のお手伝いとして、経費の助成などの各種支援を行っています。

これまで個人で食農教育活動を行ってきた方々の中には、「どうやって進めていけばいいの」と活動方法などで悩みを抱え、仲間を必要としている人も少なくありませんでした。そのため、昨年からはマイスターの方々の交流の場を設けたり、マイスター通信という広報誌を発行。現在、認定されている食農教育マイスターは110組ほどいますが、交流会では活発な情報交換が行われ、この交流会をきっかけに新たに協力体制を作るマイスターも現れています。今年6月に開催された食育推進全国大会では、複数の食農教育マイスターの方々が出席。飯田地区（泉区）の農家のお母さんたちが地域に伝わる竹を使ったまつり寿司など、昔ながらの伝統料理を教えたり、じゃがもちや米粉ピザなどの料理教室を行いました。

食農教育の一環として収穫体験を行っているマイスターも少なくありませんが、JA 横浜では、よりたくさんの方々に参加してもらえる収穫体験イベントとして「Food で風土フェア」を年3回開催しています。保土ヶ谷支店がある西谷ではじゃがいも掘りのイベントをしたり、泉区の和泉支店ではゆめが丘の駅からスタートする収穫体験イベントを実施しました。

「近くに農地がない中区や西区など、もっと多くの方々が食農体験に参加できるよう、市内48ヶ所にあるJA 横浜の支店を拠点として、収穫体験ができる場所を少しずつ拡大しています」（今後のイベント情報は6ページを参照してください）。

地産地消発展の鍵を握る 女性農業者の活躍に期待

JA 横浜では、農業に従事している女性を対象にした女性農業者講座を平成17年から開いていましたが、今年6月、その女性農業者講座で意気投合した30代から60代までの有志が「横浜ベジフルレディ」というグループを結成し、

中区の「ハッピーローソン山下公園店」で新鮮野菜直売会を行いました。自分たちが作った農作物やハーブなどを、自分たちの手で販売したこの直売会は新聞などのメディアでも取り上げられ、大きな反響を呼びました。

「こうしたやる気のある女性農業者が行動を起こすことで、その先の道は大きく変わってくるはず。それが横浜らしい地産地消の形でもあるのかなと思います」。中村課長は女性農業者の活躍に期待を寄せています。



「地産地消は農業振興やコミュニティづくりのツール」と話す中村課長

横浜市の農業のこれからは 地産地消が大きな役割を果たす

JA 横浜の今後の課題をたずねると、「子育て支援や介護支援といった地域が抱える問題に、真正面から対応していく必要があります。そして、そのための有効な手段が地産地消だと考えています」という答えが返ってきました。現在 JA 横浜では、子育て中のお母さんたちに向けて地元で採れた野菜を使った料理の試食会を開いたり、高齢者対象のミニデイサービスに地元野菜を使ったヘルシー弁当を提供していますが、「今後は、こうした子育て中のお母さんとミニデイサービスに訪れるお年寄りと一緒に参加できるようなイベントを開催したい」と中村課長は言います。

「農家の後継者不足の問題もあります。後継者がいかに積極的に農業に取り組めるかを考えなければなりません。この点においても、地産地消が役立つと思っています。地産地消は人と人をつなげる大きな手段であり、生産者にとっては、直売を通じた購買者とのつながりやふれあいが大きなやりがいになります。それが都市で農業に従事する人の一番のモチベーションかもしれません」。

10月、11月は「ヨコハマbフェスティバル2012」で 生物多様性について考えてみませんか？

生物多様性に関する国際的戦略目標「愛知ターゲット」の一つである「生物多様性の主流化」に向けた取り組みとして、普及啓発キャンペーン「ヨコハマbフェスティバル2012」を10月、11月に実施します。生物多様性といっても難しいことはありません。食をはじめ、私たちがふだん当たり前と思っていることの多くが、生物多様性（生きもののつながり）がもたらす恵みの上に成り立っているのです。

「ヨコハマbフェスティバル2012」では、写真や動画の募集・公開をしたり、市内各地で開催される関連イベントを紹介したりします。ぜひ、ホームページやリーフレットをご確認のうえ、「ヨコハマbフェスティバル2012」に参加してください！



* b は biodiversity（生物多様性）の頭文字“b”です。

フェスティバル期間中に開催するさまざまなイベントの紹介や写真、動画の募集についてはHPをご確認ください。



ヨコハマbフェスティバル2012

検索

おすすめイベント ヨコハマ環境行動フェスタ2012

日時：11月3日（祝・土）11:00～17:30

場所：クイーンズスクエア横浜
クイーンズサークル、クイーンズパーク
（みなとみらい線「みなとみらい駅」）

生物多様性の保全や地球温暖化対策などについて、ステージイベントや体験型ブースで楽しみながら学ぶことができます。きっと新しい発見・出会いがありますよ（写真は昨年度のイベントの様子）。

横浜の“農”を体験しよう!

横浜市内で開催されるイベント

みなとみらい農家朝市収穫祭

採れたて新鮮な横浜野菜や果物を、市内の元気な生産者(10組の団体と個人)が直売します。



11月は収穫祭を開催!日頃の感謝をこめて、お買い上げ頂いたお客様200名様に豚汁をサービスするほか、横浜野菜を使った惣菜なども出張販売する予定です。ぜひお散歩がてら収穫祭へお越しください(みなとみらい農家朝市は毎月第4日曜日に開催)。

日時:11月25日(日)9:00~11:00(小雨決行、荒天中止) 会場:高島中央公園(西区みなとみらい5-2) アクセス:みなとみらい線「新高島駅」から徒歩2分 主催:みなとみらい農家朝市出店者会 問合せ:横浜市農業振興課 TEL:045-671-2638

JA横浜 直売ネットスタンプラリー

対象直売所を回ってスタンプを集めて応募すると、抽選でステキな賞品が50名様に当たります!スタンプ5コで応募できますので、市内のいろいろな直売所に足を運んでみてください。きっと新鮮でおいしい野菜や果物と出会えるはず!生産者と交流できるのも直売所ならではの楽しみです。対象直売所や応募方法など詳細は、JA横浜のホームページをご覧ください。

日時:10月1日(月)~12月30日(日)の3ヶ月 主催・問合せ:JA横浜 営農部 農業振興課 TEL:045-805-6613

JA横浜 きた地区JAまつり

毎年盛大に行われる「JA横浜きた地区JAまつり」では、地場農畜産物・植木等の販売、模擬店でのおもちゃやお赤飯などの販売、ヒーローショーなど、イベントを多数ご用意しています。ご近所お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

日時:11月17日(土)9:00~16:00、11月18日(日)9:00~15:00 会場:JA横浜 きた総合センター アクセス:横浜市営地下鉄「センター南駅」から会場まで無料送迎バスを運行 問合せ:JA横浜 組織相談部 組合員課 TEL:045-942-2312

JA横浜 Foodで風土フェアin 都筑

市営地下鉄「仲町台駅」から出発し、農業専用地区に広がる畑を歩きながら旬の冬野菜をたくさん収穫できる収穫体験ウォークです。予約方法や時間などの詳細はJA横浜のホームページや支店、農産物直売所ハマツ子のポスター・チラシなどでお知らせします。

日時:11月23日(祝・金) 会場:都筑区折本・東方農事内畑、JA横浜きた総合センター 問合せ:JA横浜 生活文化部 地域ふれあい課 TEL:045-942-2312

JA横浜 Foodで風土フェアin 柴シーサイドファーム

名勝金沢八景を望む丘の上で、旬のみかんを収穫できる収穫体験イベントです。予約方法や時間などの詳細はJA横浜のホームページや、支店・農産物直売所ハマツ子のポスター・チラシなどでお知らせします。

日時:11月4日(日) 会場:JA横浜柴シーサイドファーム 問合せ:JA横浜 生活文化部 地域ふれあい課 TEL:045-942-2312

農と緑のふれあい祭り

「みどりアップ」「農」「緑」に関連する各種イベントを同時開催。農産物等の即売や収穫体験、よこはま畜産まつり、フルーツフェスタ秋「秋季果樹特産品評会」なども行います。

日時:11月3日(祝・土)、10:00~14:00 予定 会場:環境活動支援センター、横浜市児童遊園地、こども植物園 アクセス:JR「保土ヶ谷駅」から神奈中バス「児童遊園地入口」下車、またはJR「保土ヶ谷駅」、横浜市営地下鉄「蒔田駅」、京急「井土ヶ谷駅」から市営バス「児童遊園地前」下車すぐ 問合せ:横浜市環境創造局 環境活動支援センター TEL:045-711-0635 HP:横浜市環境活動支援センターと検索

舞岡ふるさと村 虹の家

①収穫体験さつまいも掘り(予約制)

日時:10月20日(土)、10月21日(日) 費用:入園料(大人200円、子供100円)、掘り取り販売価格(5株600円(5株単位)) 申込期間・方法:10月11日(木)から電話にて



②パン教室

日時:11月18日(日)13:00~16:00 費用:1500円 定員:抽選12人 申込期間・方法:10月1日(月)~10月25日(木)、往復ハガキまたはHPにて



③親子手作りウィンナー教室

日時:11月25日(日)13:30~16:00 費用:2200円 定員:抽選12組24人 申込期間・方法:10月1日(月)~10月25日(木)、往復ハガキまたはHPにて



④舞岡野菜も使ったおもてなし料理教室

日時:12月9日(日)10:00~12:30 費用:1900円 定員:抽選18人 申込期間・方法:11月1日(木)~11月21日(水)、往復ハガキまたはHPにて



会場:舞岡ふるさと村 虹の家 アクセス:横浜市営地下鉄「舞岡駅」から徒歩5分 申込・問合せ:舞岡ふるさと村虹の家 〒244-0813戸塚区舞岡町2832番地 TEL:045-826-0700 HP:舞岡ふるさと村虹の家と検索

寺家ふるさと村 四季の家

①そば打ち教室

日時:11月25日(日)、12月9日(日)、1月20日(日) 9:30~12:30 費用:2000円 定員:各回12人 申込期間・方法:開催日の前月1日 9:30から電話または窓口にて(先着順)



②味噌づくり教室

日時:11月より実施予定。詳細はHP参照(10月上旬掲載予定)

会場:寺家ふるさと村 四季の家 アクセス:東急田園都市線「青葉台駅」から東急バス青30系統「四季の家」停留所下車徒歩1分、東急バス青31系統「鴨志田団地」停留所下車徒歩3分 主催・問合せ:寺家ふるさと村四季の家管理運営委員会 〒227-0031青葉区寺家町414 TEL:045-962-7414 HP:寺家ふるさと村四季の家と検索

田奈恵みの里

①田奈農業まつり

恒例の農業まつりを開催します。田奈産のとれたて野菜・花・苗木や地元素材を使った加工品を農家が直接販売。農産物展覧会や露店販売も行います。



日時:11月23日(金)9:00~16:00、11月24日(土)9:00~14:00

②こんにゃく作り教室

地元産のこんにゃく芋から、ぷるぷるの「生芋こんにゃく」を作りましょう!



日時:12月15日(土)13:00~16:00 対象:横浜市在住・在勤・在学の方 費用:1500円 定員:20人(大人の方のみ。子ども連れ不可) 持ち物:エプロン・三角巾・マスク 申込期間・方法:10月1日(月)~10月23日(火)必着、FAXまたはハガキで、参加される方の住所・氏名(フリガナ)・電話番号を記入の上、下記申込先まで(電話申込不可、応募者多数の場合は抽選) 申込先:〒227-0064青葉区田奈町52-8 JA田奈指導相談部「こんにゃく作り教室係」 FAX:045-989-4300、TEL:045-981-6281

会場:田奈農協 アクセス:東急田園都市線「田奈駅」から徒歩8分 主催・問合せ:横浜市環境創造局北部農政事務所 TEL:045-948-2483、FAX:045-948-2488 HP:田奈恵みの里と検索

はまふうどコンシェルジュが開催するイベント

新治恵みの里

①新治長屋門朝市3周年感謝イベント

当日お買い上げのお客様(先着250名様)を対象に、「ベジはる君」グッズ等が当たるお楽しみくじ引き会を行います。



日時: 11月17日(土)9:30~12:00 会場: 新治里山公園・いはる里山交流センター つどいの家 アクセス: JR「十日市場駅」から徒歩15分 主催: 新治恵みの里準備会 問合せ: にはる里山交流センター TEL: 045-931-4947 HP: [新治恵みの里](#)と検索

②緑区民まつりで出張PR

毎年5万人以上が訪れる「緑区民まつり」で「新治恵みの里」を広くPRします。新治産農産物がゲットできるチャンス! 新治恵みの里のほかにも約100団体イベントを行う予定です。



日時: 10月21日(日)10:00~15:00 会場: 県立四季の森公園 アクセス: JR「中山駅」南口から徒歩15分 主催・問合せ: 緑区民まつり実行委員会事務局 TEL: 045-930-2233

都岡地区恵みの里

小麦・うどん作り教室

農家指導のもと、小麦の栽培体験とうどん作りを行います。



日時: 平成24年12月~平成25年8月の土曜または日曜。第1回種まき 12月1日(土)9:30~ (第2回以降の予定、麦踏(2月)、鳥よけ(4月)、収穫・脱穀(6月)、うどん作り(8月)) 会場: 旭区下川井町の畑 アクセス: 相鉄線「三ツ境駅」からバスで「程ヶ谷カントリークラブ前」下車徒歩5分 対象: 市内在住の家族(一人でも可) 費用: 6000円(一家族) 定員: 20家族(抽選) 申込方法: ハガキまたはFAXで郵便番号、住所、電話番号、参加者全員の名前、年齢を記入の上、お送りください。 申込先: 〒241-0031旭区今宿西町289 都岡地区恵みの里運営協議会事務局「小麦作り係」 FAX: 045-955-5057、TEL: 090-7733-8532 主催・問合せ: 横浜市環境創造局北部農政事務所 TEL: 045-948-2482、FAX: 045-948-2488 HP: [都岡地区恵みの里](#)と検索

10月31日必着

おさんぽ農場

明るい太陽のもと、地元の恵みを収穫し、気持ちの良い時間を楽しむ一日農業体験ツアー



「おさんぽ農場」。毎月第2土曜日に開催中です。 日時: 10月13日(土)、11月10日(土) 会場: 都筑区仲町台周辺 集合場所: 横浜市営地下鉄「仲町駅」 対象: 小学校1年生~中学生のお子さんと保護者(小学生は保護者同伴) 費用: 大人1000円、子供500円 定員: 10組 申込方法: 下記申込先へ、Eメールにて(先着順) 申込先・問合せ(Eメール): info@osanpo-nojyo.com 主催: おさんぽ農場事務局 いろいろな物件リスト、横濱花菜屋、はまキッチン、NOGAN)

乳搾り体験&横浜野菜 たっぷりの豚汁を味わう!

6期、石井淳一さん

グリーンファーム戸塚店すぐ裏にある相沢良牧場さんのご協力のもと、乳搾りを体験。地元横浜の大根、にんじん、里芋、ネギ、さらに味噌も横浜産を使った豚汁を無料で振る舞います。



日時: 12月1日(土) 10:30~11:30、13:00~14:00(雨天の際は2日(日)に順延) 会場: グリーンファーム戸塚店(駐車場120台) アクセス: 相鉄いずみ野線「いずみ野駅」から三ツ境行きバス「山王塚バス停」下車すぐ 対象: 乳搾りは、小学生以下は保護者同伴 費用: 乳搾り体験は1人300円、相沢良牧場のミルク1杯サービス。横浜豚汁は無料 定員: 乳搾りは各回50人まで、豚汁は無くなり次第終了 申込方法: 乳搾り体験は当日、午前・午後とも開催時間30分前から整理券を販売 主催・問合せ: グリーンファーム戸塚店内 あい菜ふぁーむ TEL: 045-363-0187 HP: [あい菜ふぁーむブログ](#) <http://greenfarmvegetable.hama1.jp/>

横浜野菜de料理教室 「はまキッチン」

4期、長谷川さとみさん

はまふうどコンシェルジュであり、野菜ソムリエの資格を持つグループ「はまキッチン」の講師たちによる、地元横浜野菜をたっぷり使った3タイプのレッスン!



①素敵で手軽なイタリアン

日時: 10月16日(火)、11月20日(火) 10:30~13:30

②初めての男の手料理

日時: 10月17日(水)、11月21日(水) 10:30~13:30

③ベジフル薬膳

日時: 10月24日(水)、11月28日(水) 10:30~13:30

会場: JA横浜「クッキングサロンハマッツ」 アクセス: 横浜市営地下鉄「センター北駅」から徒歩1分 費用: 3000円 定員: 16人 申込方法: JA横浜 地域ふれあい課へ電話にて(平日9:00~16:00)

TEL: 045-942-2312 主催・問合せ(Eメール): hama_kitchen@yahoo.co.jp (はまキッチン) HP: <http://locoplac.jp/t000228780/>

やさいともだち キッズレンジャー

「ミカン狩りと冬野菜の収穫」

2期、門倉麻紀子さん

ミカン狩りと冬野菜の収穫をしてクリスマスリース作りをします。みんなでお芋のご飯と、熱々けんちん汁を食べましょう!



日時: 12月2日(日)10:00~12:00 会場: ユアーズガーデン(戸塚区名瀬町) アクセス: JR「東戸塚駅」、相鉄いずみ野線「緑園都市駅」から神奈中バス「中村」下車徒歩1分 対象: 幼稚園、小学生を含む親子 費用: 大人1500円、子供(小学生・幼稚園)1000円 定員: 親子30人 申込方法: 11月1日(木)~15日(木)に、往復ハガキに行事名・住所・氏名・学年・電話番号・保護者氏名を明記 申込先・問合せ: 〒245-0051戸塚区名瀬町1742「はまふうどコンシェルジュ食育の会 担当 門倉麻紀子」 TEL: 045-812-5030 HP: <http://yoursrgarden.net/>

はまふうどコンシェルジュ 活動紹介コーナー

市内で様々な活動を行っているはまふうどコンシェルジュの活動紹介コーナー。本号では、小学校の学校給食を通して地産地消の推進に取り組むはまふうどコンシェルジュを紹介します!

横浜市では「はまふうど(地産地消)」を実践し、普及につとめる方々を対象とした「はまふうどコンシェルジュ講座」を開催し、修了した受講生を「はまふうどコンシェルジュ」として認定しています。はまふうどコンシェルジュは、様々な地産地消活動を行っており、現在215人。

小学校の学校給食を通して地産地消を推進

金子 澄江さん

1期、横浜市立西が岡小学校栄養職員



泉区の栄養教諭・栄養職員研究会で地場野菜を使った献立を作成し、地場産物を活用した給食「泉区ランチ」を実施。昨年は「はまポーク」を使って豚角煮井を実施し、好評でした。地場野菜の供給はJA横浜のご協力により、1年を通じて行われています。



横浜の農産物を味わう

～よこはま地産地消サポート店の特別企画～

横浜市では、地産地消を推進するために、市内産の農畜産物を使ったメニューを提供する飲食店を「よこはま地産地消サポート店」として登録しています（平成24年7月末現在76店舗登録）。ぜひ、よこはま地産地消サポート店に登録しているお店で市内産農畜産物を味わってください。

・ 地産地消月間（11月）の特別企画

ミクニヨコハマ

「秋の地産地消メニュー」

横浜市内を中心にシェフ自ら生産者を訪れ、畑でとってきた食材などを使った、自然の力と魅力あふれるメニューをご用意いたします。

期間：2012年11月1日（木）～11月30日（金）ランチ11:30～15:00(14:00LO)、ディナー 17:30～22:00(21:00LO) アクセス：JR「横浜駅」東口から徒歩3分、ヨコハマスカイビル29階 問合せ先：TEL 045-442-0430 URL：http://www.mikuni-yokohama.com

市内産ハチミツやサツマイモなどを使った特製「ハム子モンブラン」



横浜クルーズ・クルーズ

「①ランチバイキング ②ディナー」

①「平日限定 横浜「はまぼーく」のローストポーク セサミBBQソース」

平日のランチタイムの時間限定ではまぼーくのローストポークを提供いたします。

期間：11月1日（木）～11月30日（金）の平日限定 12:00～14:00(営業時間11:30～15:00)

②「数量限定 横浜地場食材黒板メニュー」

地元横浜の食材を使用した限定メニューを日替わり数量限定で提供いたします。

期間：11月1日（木）～11月30日（金）17:00～23:00(貸切の場合は営業なし。要確認) アクセス：JR「横浜駅」東口から徒歩3分、ヨコハマスカイビル27階 問合せ先：TEL 045-450-2111、FAX 045-461-2555



横浜「はまぼーく」のローストポーク

和ダイニング 檜

「地産地消フェア」

農林水産省第5回地産地消メニューコンテストに出品中のコース料理をキャンペーン価格でご提供!

期間：11月1日（木）～11月30日（金）17:00～24:00 アクセス：JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」から徒歩3分 問合せ先：TEL 045-865-0123、FAX 045-861-0123



地産地消月間特別コース

れすとらん さいとう

「横浜の秋をまるかじり! 地産地消スペシャルランチ!」

農家さんの畑から直送の野菜など、市内産の地場食材をコース料理のすべてに使用します。秋の横浜の旬を満喫してください!

期間：11月上旬～11月下旬
アクセス：JR・東急東横線「菊名駅」東口から徒歩5分 問合せ先：TEL/FAX 045-434-1761



秋の横浜野菜のバレットサラダ「岩井の胡麻油」さんの「黄白ゴマ油」ドレッシングで

ナチュラルレ・ボーン

「秋の地産地消フェア」

横浜No.1(自称)のバーニャカウダや、横浜野菜たっぷりのピッツァ、やまゆりポークなど、地産地消メニューが盛りだくさん!

期間：11月1日(木)～11月30日(金)11:30～15:00、18:00～22:00、火曜定休 アクセス：田園都市線「藤が丘駅」から徒歩1分(提携駐車場の割引あり) 問合せ先：TEL 045-978-0355



名物・横浜野菜のバーニャカウダ

うおたま&くうかい

朝市の様子

「朝市」

毎月第1・第3土曜日に店内で朝市を行っています。11月は新治町と鉄町の無農薬野菜が並びます。

期間：毎月第1・第3土曜日 10:00～13:30(営業時間11:00～14:00、17:00～22:00、月曜定休) アクセス：JR「十日市場駅」から徒歩15分(横浜市緑区霧が丘1-17-6) 問合せ先：TEL 0120-590-343または045-922-6130



うどんカフェカリオカ

朝採れかぶと一番だしの効いた「かぶのあたたかうどん」

「農家直送朝採れ野菜メニュー」

毎朝農家直送の野菜(11月はかぶ、ブロッコリー、大根、キャベツ、ほうれん草など)を、季節ごとに変わるサラダうどんや様々な料理に使用しています。

期間：11月1日(木)～12月16日(日)9:00～21:10、期間中無休 アクセス：横浜地下街・ダイヤモンド(横浜駅西口地下街) 問合せ先：TEL 045-316-3237



よこはま地産地消サポート店の登録店リスト

よこはま地産地消サポート店 検索

よこはま地産地消サポート店について

横浜市内産農畜産物を利用されている飲食店の皆様、ぜひ「よこはま地産地消サポート店」にご申請ください。登録店の情報は、横浜市のホームページ「横浜で地産地消情報サイト」等で紹介します。

よこはま地産地消サポート店にご登録ください!

1.よこはま地産地消サポート店の対象

市内にある食品衛生法の飲食店営業等の必要な許可を受けている料理店、一般食堂、レストラン、仕出し屋、総菜屋、弁当屋、農産加工業者。

2.登録の要件

所在地が市内にあり、横浜市の地産地消の趣旨に賛同し、市内産農畜産物を活用していること、推薦者(生産者、出荷組合、農協、市場、仲卸業者)の推薦書の提出があること、市内産農畜産物を活用していることを店頭やメニューに表示していること。

3.サポート店の役割

市内産農畜産物を積極的に活用し、市民に良さを紹介し、地産地消の推進に努めます。

4.登録の手続き

申請書類は、ホームページ(「よこはま地産地消サポート店」で検索)からダウンロードできます。

5.登録店への支援策

横浜市のホームページ「横浜で地産地消情報サイト」、「はまふうどナビ」等の情報誌に掲載してPRします。